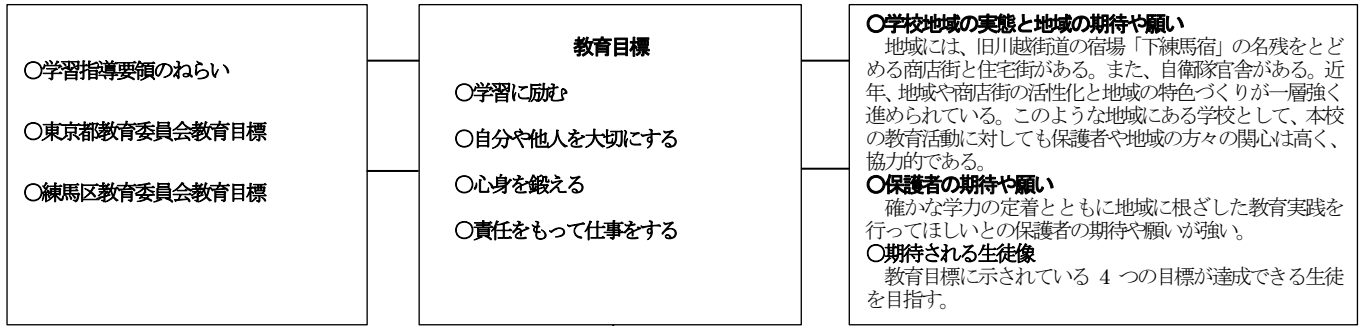
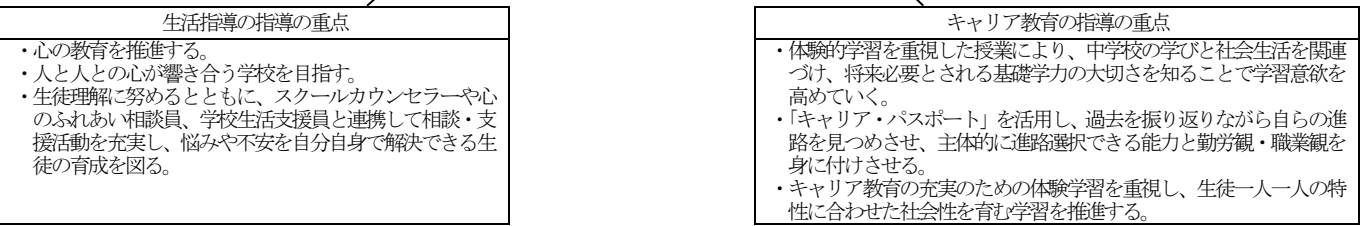
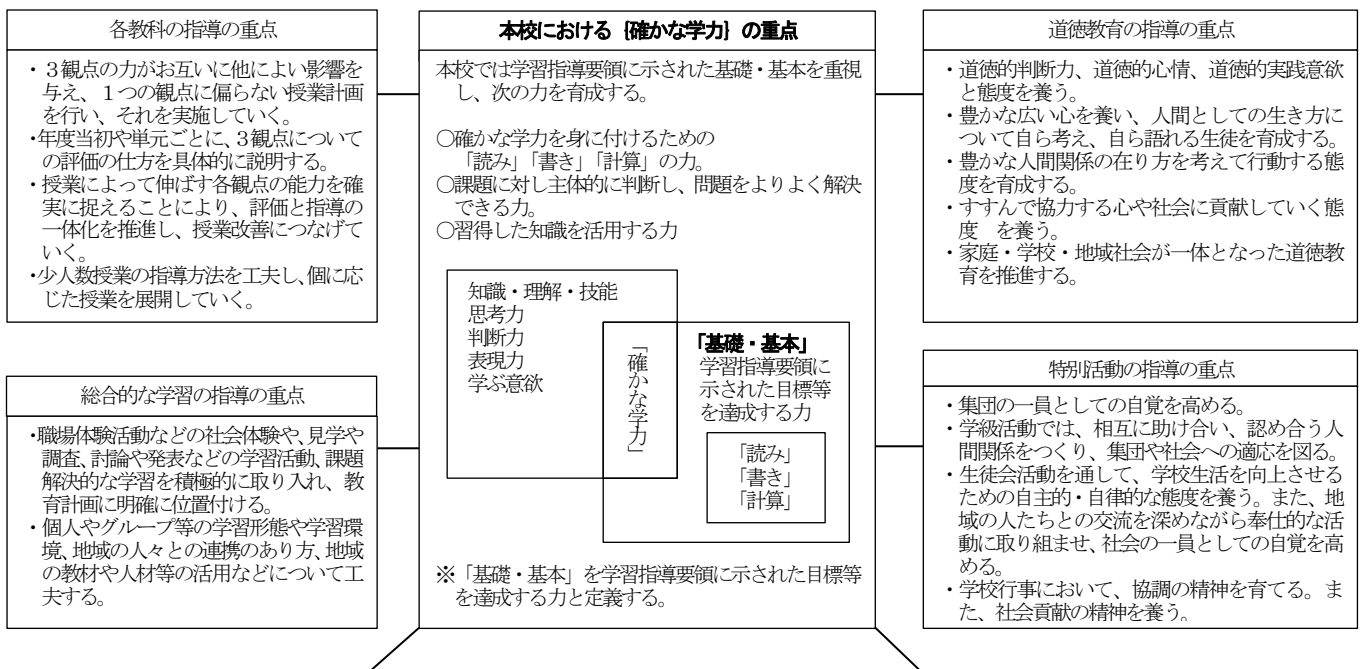


令和8年度 学力向上を図るための全体計画



学校経営計画 (学力向上に関わる具体的な指針)

- ・生徒の主体的・対話的で深い学びを実現させる授業改善を行い、生徒と共に教師も考え、意見交換する中で、言語活動を充実させるとともに、思考力・判断力・表現力を伸ばす。
- ・ICT機器、特にタブレット端末を効果的に活用して、わかりやすい授業を行う。
- ・自習ソフトを活用し、学力補充を充実させ、自ら学ぶ意欲を高める。定期的に家庭学習強化期間を設け、家庭学習の習慣を定着させる。
- ・「数学科」、「英語科」の少人数授業においては、きめ細かく個に応じた授業を計画、実践することにより深い学びを体験させる。
- ・「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の3観点の力が、お互いに他の力により影響を与えていく授業を展開する。



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携と工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びを実現させる授業改善 ○1時間ごとの学習の「めあて」を明確にした学習活動の展開 ○数学科、英語科での少人数授業の指導方法の工夫と個に応じた授業の展開 ○ICTを活用した効果的な授業(全教科)の工夫と改善 ○デジタル教科書の活用 ○授業規律を徹底した学習活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に家庭学習強化期間を設けての家庭学習習慣の定着 ○朝読書の充実と落ち着いた学習環境の確立 ○長期休業中や定期考査前、放課後の補習など、年間を通した計画的な補充学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領に即した適正な評価・評定について校内研修と授業の実施 ○各教科におけるICT活用の効果的な活用について研修 ○配慮を要する生徒の情報共有し、基本的な学習習慣の定着を図り、一人一人の個性や能力を伸ばす指導法の研修 	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力を身に付けさせるための、指導と評価の一体化 ○生徒による授業評価アンケートの実施 ○より信頼度の高い評価・評定にするための検証・点検作業の実施 ○生徒の自己評価、学力調査の結果などを生かし、生徒の学習状況の客観的な把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校公開、授業参観の実施 ○地域行事への参加 ○地域の伝統文化の学習 ○地域人材を活用した体験学習の実施 ○学校だよりやHPを活用した情報公開の工夫 ○学校評価アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す15歳の姿の具体化に向けた取組 ○小学校への出前授業、夏季休業中の学力補充教室の実施 ○校区別協議会での教科分科会の実施

授業改善策の検証方法

全国学力・学習状況調査、定期考査、生徒・保護者アンケート、学校関係者評価、生徒観察を基に、教科部会で改善策を検証する。